

『政治家は経営者たるべし』

官僚主導政治と云われて久しくなります。最近では政治主導になってきた、それも政高党低だとも言われています。実際には強権的とも言われる程の強い指導力を持つ安倍内閣においてすら、省庁・官僚はなかなか主要閣僚にとつてすら思うに任せない状態だと思えます。それは官僚に限らず、大きな組織の宿命として、なかなかトップの思い通りにはならないからです。

組織は人で出来ていますから、人の気持ちを動かさなければ組織は動きません。そして組織が大きくなればなるほど、変化が乏しければ乏しい程、動かなくなつてきます。動かないものを動かすには、相当大きな力が必要になります。国会公務員だけで64万人もいますし、戦後からだけでも70年以上の歴史ある組織ですから、人数と歴史の重みで押しも引いてもテコでも動かないのは当たり前ではあるのです。

70名程がほとんど国会議員から任命されますが、このように役人1万人当たり1人程度しか政治家は政府に入れません。しかも任期はこれまでの実績から見ても、政務1人当たり1年以内です。こんな政治家がお飾りの体制で政治主導をどの程度実現出来るでしょうか？大臣や総理の権限がいかに強くてもこれではあまりに多勢に無勢です。

しかも国会議員は大変多忙です。地方議員経験を経て国会議員になられた方もたくさんおられますが、皆さん口を揃えるのは国会議員がこんなに超多忙だとは思いません。たということですが、私も衆議院の委員会を3つ掛け持ちしています。特に自民党は掛け持ちが多いのです。政府や国会運営に割く人数が多いのに人が回らないのです。野党も含め他党でも2つの掛け持ちが常態化していますし、掛け持ちしている委員会が同時開催の時は、体は1つしかありません。それから、他の議員に差し替える頼んだり、それが叶わない時には2つの委員会を行ったり来たりしながらなんとか会議の定足の維持に奔走します。院の仕事だけでは済みません。同時並行で党の重要会議が幾つもある中で、常にどの会議に出席すべきか、ギリギリの選択を迫ら

れる毎日です。そして各種団体からの陳情への対応、役人との打ち合わせ、まさに分刻み、下手をすると秒刻みの多忙さです。そのうえ地元にも毎週末に戻って行事出席をはじめ、選挙を見据えて地元との絆を深める仕事も必要です。

こんな状況で山のような官僚群と対峙する知識や構想やエネルギーを蓄えられるか、こういう難題に私たちが国会議員、特に衆議院議員は取り組んでいるのです。国会議員定数削減が叫ばれています。このような国会議員の実態を鑑みると、いかがなものかと思わずにはいられません。ますます官僚と闘う力が削がれてしまふからです。とはいえず、与えられた環境の中で結果を出さなければなりません。人間の知恵には無限の可能性があります。

衆議院議員は代議士と呼ばれます。国民の代弁者という意味です。しかし衆議院議員が国を動かす仕事をするためには、代議士であるだけでは足りないと考えます。政治の世界では様々な団体が運動を行なって国政に思いを反映させる為に頑張っています。国会議員もそれを支援する為に議員連盟などを作って政府に圧力をかけています。しかしその主張はどうしても我田引水的なになってしまふ。それでは多様な団体の利害がぶつかって事がなかなか成就しま

せん。また無理に成就させようとすると、多くの国民の利益に反する結果に繋がったりもします。国会議員にはそれら多くの声を総合的に判断し、皆にとつて最善の答えを構想し、歴史的経緯や各省庁の事情を踏まえて実現出来る現実的な行動を選択し、推進出来なければなりません。このような利害調整と省庁横断的かつ様々な障害を乗り越えて国を前進させるのは、立場的にも国会議員にしか出来ない仕事です。官僚達や各種団体を説得・指導して、実務的に機能する仕組みを作り上げてゆく、経営者としての能力も国会議員は持たなければなりません。と思えます。

ただ様々な立場の方々の言い分をおおむ返しのように代弁するのはなく、様々な問題の総合的な解決を目指して、議論し時には説得し、官僚に実務を丸投げするのでなく、彼等をも納得させて本当に問題が解決する為に、実務の仔細まで目配り・指導して成果を出す経営力が国会議員には求められるべきだと思えます。そういう優れた議員の活動の総合力が、特に与党に求められ、それが政治主導を実現するのだと思えます。議員は選挙で選ばれます。有権者の選択が、優れた経営力ある国会議員達に仕事をさせることになることを願わずにおれません。

Facebook でも活動報告を行っています。〈Facebook アドレス〉 <https://www.facebook.com/anamiyoichi>

皆様のご意見をお聞かせください! お待ちしています。

あなみ よういち

衆議院議員 穴見陽一 後援会 事務所

〒870-1133 大分市大字宮崎867-18 TEL.097-567-1319 FAX.097-567-2010

<http://www.anamin.net> E-mail:info@anamin.net

